

# 次期計画の骨子案(再修正版)

## はじめに（次期計画検討のポイント）

- 文化審議会の意見や県民アンケート等の結果を踏まえて、時代の潮流や県民ニーズに合わせた取組みについて重点的に記載する。
- “we are all different, we are all special（私たちは皆 違う、皆 特別だ）”という視点で変化と多様性を認める。（長澤）
- 文化芸術を高尚なものと捉えず、身近で幅広い分野にもスポットを当て、より多くの県民や子どもたちが心豊かになるよう様々な取組みを行う。（全委員）《県民アンケート》
- 社会情勢等の変化に柔軟に対応するため、具体的な事業は毎年度の予算編成で示すことで実効性を確保する。
- 本県の強みである“高度な当たり前文化”を盛り込む。（青柳、武内）《県民アンケート》  
（例：「おわら」、「むぎや」、「曳山」等の民俗芸能や祭り行事、富山ガラス、高岡銅器等の工芸美術、特色ある美術館・博物館）

## 計画策定の趣旨

・第1回文化審議会で示した内容と変更なし

- 文化芸術を取り巻く社会情勢の変化や県民ニーズ等を踏まえ、新たな総合計画の「10年後の目指す姿」の実現に向けて、文化芸術施策の基本的な方向性を定める新たな富山県民文化計画を策定します。

## 目指す姿

- 「誰もが文化に親しみ、関わることにより、心の豊かさを実感しています。」  
(新たな総合計画の「10年後の目指す姿」より)

## 位置づけ

- 国の「文化芸術基本法」及び「富山県民文化条例」に基づき、文化芸術振興のために取り組むべき基本的な方向性を定めるもの。

なお、他の個別計画でも広義の文化について取り上げており、原則、具体的な施策等の記述は当該計画に委ねる。

＜他の個別計画の例＞

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| ・富山県教育振興基本計画（ふるさと教育）         | ・富山県食育推進計画（食文化）                 |
| ・富山県景観条例・規則・景観づくり基本方針（景観づくり） | ・伝統工芸文化継承・産業振興プログラム（伝統産業）       |
| ・とやま未来創生戦略（まちづくり）            | ・富山県ものづくり産業未来戦略（ものづくり産業の高付加価値化） |

## 計画期間

- 令和9年度から13年度までの5年間（現計画は令和8年度まで）

I. 身近なところで文化芸術に親しむ機会の充実

- (1) 暮らしの中にある文化芸術の普及・啓発
  - ① 新しく幅広い分野も含めた文化芸術の普及・啓発
  - ② ふるさと富山の歴史や文化、自然等を学び親しむ機会の充実
- (2) 誰もが質の高い文化芸術に触れる機会の提供
  - ① 文化施設で優れた美術や文学、音楽、演劇などに親しむ機会の充実
  - ② 富山を舞台とした特色ある文化芸術の振興
  - ③ ターゲットに応じた効果的な広報の推進
- (3) 誰もが文化芸術に親しみ、参加できる環境が整い、誰もが表現者となれる機運の醸成
  - ① インクルーシブな文化芸術活動の推進
  - ② 文化施設の多面的な活用の推進
  - ③ 文化施設以外でも文化芸術に触れる機会の提供
- (4) 文化芸術活動の持続的発展の推進
  - ① 文化芸術がつなぐ交流の輪と自発的な活動の促進
  - ② 文化芸術活動の新たな担い手の掘り起こし
  - ③ 県の文化芸術をみんなで盛り上げる新しい仕組みづくり

| 指標                           | 現状                     | 目標値(R13)    |
|------------------------------|------------------------|-------------|
| 県立美術館等の来館者数                  | 70万3千人                 | 80万人以上      |
| 県立美術館等と県主催文化芸術事業の来場者満足度      | R⑧個別アンケート実施            | 1割以上の増加を目指す |
| 文化芸術を鑑賞した県民の割合(オンライン鑑賞含む)    | 86.4%(R⑦文化に関する県民アンケート) | “(県政世論調査)”  |
| 文化芸術活動をした県民の割合(オンラインでの活動を含む) | 41.0%(R⑦文化に関する県民アンケート) | “(県政世論調査)”  |

II. こどもが文化芸術に触れ親しむ機会の拡充

- (1) 文化芸術に関心をもつ機会の充実
  - ① 文化施設での多彩な企画展の開催と学びの場の創出
  - ② 幼少期から感性を育む鑑賞機会の提供
  - ③ ふるさと教育の推進
  - ④ 学校教育との連携
- (2) 体験・発表する機会の充実
  - ① こどもたちの文化芸術活動を企画・運営する人材の育成・活用
  - ② 成長ステージに合わせた文化芸術体験機会の創出
- (3) 地域とともに取り組む文化芸術活動の推進

| 指標                                 | 現状                     | 目標値(R13)    |
|------------------------------------|------------------------|-------------|
| 県立美術館等で鑑賞をしたこどもの満足度                | R⑧個別アンケート実施            | 1割以上の増加を目指す |
| 県主催文化芸術活動に参加したこどもの満足度              | “                      | “           |
| 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある(うち10代～20代) | 3.36(R⑦ウェルビーイング県民意識調査) | 増加を目指す      |

III. 文化芸術による地域活性化

- (1) 本県の豊かな文化資源の磨き上げによる文化観光の推進
  - 文化芸術を通じた関係人口の創出
- (2) 地域の魅力の再発見と地域活性化の促進
  - ① 富山の高度な“当たり前文化”の再評価、継承と育成によるまちづくり
  - ② 特色ある文化芸術活動への支援
  - ③ 伝統工芸産業の振興
- (3) 伝統文化の保存・継承の推進
  - ① 文化財の確実な次世代への継承
  - ② 文化財の公開活用の促進
  - ③ 世界文化遺産登録に向けた取組みの推進

| 指標                                    | 現状                                  | 目標値(R13) |
|---------------------------------------|-------------------------------------|----------|
| 県内に文化や歴史など自信をもって誇れるものが「たくさんある」と思う人の割合 | たくさんある21.1%<br>少しはある67.5%(R⑦県政世論調査) | 80%以上    |
| 県内主要文化施設・文化財への観光客入込数(富山県美術館など20力所)    | 194.2万人                             | 215万人以上  |
| 3                                     |                                     |          |

## I. 身近なところで文化芸術に親しむ機会の充実

### （1）暮らしの中にある文化芸術の普及・啓発

#### ①新しく幅広い分野も含めた文化芸術の普及・啓発

- ・ 何気ない日常の中にアート（ex.クラフト、デザイン）を見出す豊かな感性の醸成（藤井）
- ・ 歴史的な評価を受けている分野に加えて、県民の文化芸術への関心を高める新たな取り組みの推進（内山、島添、武内、長澤、西島、丸山、米田）《県民アンケート》
- ・ 準備や練習過程の発信による文化芸術活動への関心・理解の促進（西島）

#### ②ふるさと富山の歴史や文化、自然等を学び親しむ機会の充実

- ・ 郷土に誇りと愛着を持ち、郷土を支える人材の育成、伝統芸能や地域の伝統行事の担い手確保など（武内）《総合計画、県民アンケート》

- ・ 第1回文化審議会（R7.12.16）での委員からの意見、県総合計画（R7.12月策定）、県民等アンケート結果を基に記載
- ・ 第2回文化審議会（R8.3.24）での委員からの意見や欠席者、新任委員からの意見を反映
- ・ 第3回文化審議会（R8.7.30）での委員からの意見やヒアリングの意見を反映
- ・ 発言された委員名は( )内に記載、敬称略
- ・ 総合計画からの引用や、参考としたアンケート等は《 》内に記載

## I. 身近なところで文化芸術に親しむ機会の充実

### （２）誰もが質の高い文化芸術に触れる機会の提供

#### ①文化施設で優れた美術や文学、音楽、演劇などに親しむ機会の充実

- ・美術館、博物館や文化ホールなど県民に身近なところで、多彩で質の高い文化芸術に親しむことのできる機会・環境の充実・支援 《総合計画、県民アンケート》

#### ②富山を舞台とした特色ある文化芸術の振興

- ・利賀に拠点を置く劇団SCOT（主宰：鈴木忠志氏）による世界一流の舞台公演や、立山町芦峯寺に伝わる立山信仰の儀式「布橋灌頂会」など（武内）《県民アンケート》

#### ③ターゲットに応じた効果的な広報の推進

- ・情報を届けたい世代に応じた広報媒体の使い分けやパンフレットの多言語化、動画の活用など（内山、砂原）

### (3) 誰もが文化芸術に親しみ、**参加できる環境が整い**、誰もが表現者となれる機運の醸成

#### ① インクルーシブ（注①）な文化芸術活動の推進

- ・「10人いれば10人のアートがある」多様な表現を認め合うしなやかな感性の育成（藤井）
- ・性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず、誰もが文化芸術を鑑賞・参加・創造することができる機会の充実（伊東、清原、佐部利、三宮、長澤、米田）《県民アンケート》
- ・高齢化、共生社会を見据えた文化施設における利用者目線の対応力の向上（米田）《文化芸術団体アンケート》

#### ② 文化施設の多面的な活用の推進

- ・県民や文化芸術団体などのニーズの把握など（丸山）
- ・若い世代をはじめ、県内芸術家の表現の機会・活躍の場の提供（佐部利、藤井）

#### ③ 文化施設以外でも文化芸術に触れる機会の提供

- ・**まちなか**や暮らしに身近な場所、文化財などのユニークベニユー（注②）を活用した文化芸術活動への支援など（青柳、内山、佐部利、西島、丸山）

## (4) 文化芸術活動の持続的発展の推進

### ①文化芸術がつなぐ交流の輪と自発的な活動の促進

- ・文化芸術をきっかけに交流の輪が広がり、それに参加した文化芸術の担い手や支え手が充足感や充実感を持って、自ら積極的に発展させていく好循環の創出（佐部利、三宮、米田）《県民アンケート》
- ・文化芸術に関わる人が分野や地域を超えて繋がっていくための機会の提供（伊東、佐部利）

### ②文化芸術活動の新たな担い手の掘り起こし

- ・こどもたちの文化芸術活動体験等を通じた興味・関心の醸成、指導・育成など  
《文化芸術団体、市町村アンケート》

### ③県の文化芸術をみんなで盛り上げる新しい仕組みづくり

- ・県民、こども、団体、アーティスト、自治体、企業などの多様な主体が情報共有や交流を通じて連携し、県全体で文化芸術を幅広く活性化するための仕組みづくり
- ・文化芸術に関わる団体・グループ・個人のゆるやかなネットワーク「ACT=Arts Collective Toyama（アーツ コレクティブ トヤマ）」（注③）とACTの文化芸術振興活動を支援するための審議機関「TAC=Toyama Arts Council（トヤマ アーツ カウンシル）」の設置
- ・振興対象の拡大や安定的な運営を見据え、将来構想として基金設置も今後、県において検討すること

## Ⅱ. こどもが文化芸術に触れ親しむ機会の拡充

### (1) 文化芸術に関心をもつ機会の充実

#### ①文化施設での多彩な企画展の開催と学びの場の創出

- ・ こどもたちが質の高い文化芸術に触れる機会の充実、作品の理解を深める対話型鑑賞等の企画の充実  
(佐部利、武内) 《県民アンケート》
- ・ 小学生から大学生など若い世代の文化への興味・関心を契機として、親世代を含む幅広い年齢層の文化施設の利用を喚起 (佐部利)

#### ②幼少期から感性を育む鑑賞機会の提供

- ・ 親子で気兼ねなく楽しめるコンサート等の開催など (内山、清原)

#### ③ふるさと教育の推進

- ・ 富山の歴史や文化等への興味・関心を高め、ふるさとへの誇りや愛着を育むふるさと教育の推進 (内山)

#### ④学校教育との連携

- ・ 学校と美術館等との連携事業の実施、学校での公演・指導など (清原、佐部利、三宮) 《県民アンケート》

## Ⅱ. こどもが文化芸術に触れ親しむ機会の拡充

### (2) 体験・発表する機会の充実

#### ① こどもたちの文化芸術活動を企画・運営する人材の育成・活用

- ・ 専門家のノウハウ活用や文化施設関係者の研修会の実施等による魅力的な企画・運営力の向上  
(内山、佐部利) 《県民アンケート》

#### ② 成長ステージに合わせた文化芸術体験機会の創出

- ・ こどもたちの年齢層に応じた文化芸術体験の企画など (西島)

### (3) 地域とともに取り組む文化芸術活動の推進

- ・ アフタースクール(注④)におけるこどもたちの可能性を伸ばす機会の創出 (伊東、内山)
- ・ 若手アーティストや芸術系大学生等と連携した文化芸術体験の提供 (佐部利、三宮)

### Ⅲ. 文化芸術による地域活性化

#### (1) 本県の豊かな文化資源の磨き上げによる文化観光の推進

##### 文化芸術を通じた関係人口の創出

- ・日本三霊山の一つに数えられる立山をはじめ県内の豊かな文化資源の磨き上げ、**文化資源を核とした新たな価値の共創**、旅行形態の変化を踏まえた周辺環境の整備、展示物や歴史的な建物などを用いたイベントの開催、オフシーズンの誘客促進など（砂原、宮崎、米田）《総合計画、県民アンケート》

#### (2) 地域の魅力の再発見と地域活性化の促進

##### ①富山の高度な“当たり前文化”の再評価、継承と育成によるまちづくり

- ・富山県に根ざした「高度な当たりの文化」を再評価し、地域の住民や団体、経済人がそれを守り、次世代へ繋ぎ、育てる取り組みへの支援を通じた本県固有のまちづくり推進（青柳、伊東、佐部利、武内）《企業アンケート》
- ・文化資源の多面的な活用等によって認知度向上を図り、国内外からの来訪者の評価を力として、本県の文化資源への自信と誇りを醸成（伊東、内山、宮崎）

##### ②特色ある文化芸術活動への支援

- ・県内各地で行われる特色ある文化芸術活動への支援を通じた地域活性化《総合計画》

##### ③伝統工芸産業の振興

- ・数百年にわたり受け継がれてきた富山県独自の伝統工芸の「人材育成・技術継承」、「新商品開発」、「販路開拓・魅力発信」の取り組みを支援（長澤）《高校生県議会》

### (3) 伝統文化の保存・継承の推進 《総合計画、教育大綱》

#### ①文化財の確実な次世代への継承

- ・国、県指定文化財の保存修理や後継者育成及び、「むぎや」、「おわら」などの伝統芸能の保存継承の取組等への支援 《県民、企業、市町村アンケート》

#### ②文化財の公開活用の促進

- ・美装化や防災対策の支援 《県民、企業、市町村アンケート》

#### ③世界文化遺産登録に向けた取組みの推進

- ・「近世高岡の文化遺産群」及び「立山砂防」の世界文化遺産登録に向けた活動の支援

## 《用語説明》

| 用 語                     | 説 明                                                                       | ページ                 |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| ①インクルーシブ                | 年齢、障害の有無、経済的な状況または居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるような環境を目指す包摂的な考え方 | 資料 1<br>6 ページ<br>注① |
| ②ユニークベニュー               | 歴史的建造物、文化施設や公的空間等の「特別な場所」でのイベント実施により「特別な体験」を創り出す仕組み                       | 資料 1<br>6 ページ<br>注② |
| ③コレクティブ<br>(collective) | 共通の目的や価値観を持つ人々の集まり、協力して行動や意思決定を行う集団                                       | 資料 1<br>7 ページ<br>注③ |
| ④アフタースクール               | 放課後に、希望する児童を対象に「安全・安心な居場所」と「多様な体験・活動の機会」を提供すること                           | 資料 1<br>9 ページ<br>注④ |
| ⑤ウェルビーイング               | 収入や健康といった外形的価値だけではなく、精神的にも社会的にもすべてが満たされた状態であること                           | 資料 3<br>注⑤          |